

地域が“つながる”情報交換会

ワーク① 地域でやっていること、興味があること

12/4 (火) 大堰校区 38名

○お宮行事

おこもり（高食、西原）、堂籠り（富多、鳥飼、守部、菅野）、高良山参拝（高食）、竹灯籠（守部）、水神まつり、左義長、いも名月（鳥飼）、×縄作り、門松作り、せんとうみょう（守部）、座

○集い

ミニデイ、老人クラブ、分館体操、グランドゴルフ、ミニストップ（富多役員のサロン）

- ・楽打会（守部）…20年以上続くゴルフコンペ（年2回）。40～80代が参加。みんなで集まって行き、終了後には打ち上げをしている。
- ・運動会（菅野）…35回開催。勤体を借り、グランドゴルフ（7組対抗）、わなげ、ビンゴ、打ち上げあり。やめろと言われてもやめません。

○ボランティア、地域の団体など

子ども見守り隊、アンビシャス（通学合宿など）

○安全

空き家の植木剪定、標識等の点検、階段の手すり塗替え（富多）

○環境

お宮掃除、カン拾い、堤防の草刈、排水路の掃除、蛍の飼育（大堰交流センター）

○見守り

小地域協議会を中心に高齢者の見守り、声掛け

○助け合い

- ・おたがいさま♡買い物サービス（鳥飼）…慈愛会の協力でAコープへ
- ・乗合で買い物…ハサコ団地では同年代が多く、まとまりがよい。隣近所の人と一緒にスーパーに乗せて行っている。

12/12(水) 大刀洗校区 32名

○お宮行事

子ども相撲大会(上高橋)、上高橋秋祭り（おくんち）、堂籠り、左義長、御座、駄風流（川祭り）

○教会行事(今村カトリック教会)

○集い

ミニデイ、老人クラブ、カラオケ教室（高樋公民館で月3回開催）、今区健康サロン（健康体操、お茶、卓球、麻雀、聖母園 GH で昼食）

○ボランティア、地域の団体など

- ・おやし大刀…地域の祭りでお店、通学合宿に協力。中高生もボランティアとして参加。若い人たちのメンバーを増やしたい。

○環境

どうしよる会（中川）…桜並木の手入れ

○見守り

- ・認知症 SOS 模擬訓練実施（今、高樋、下高橋）

○校区センターの取り組み

- ・校区巡回バス→火、木、土の午前中3便
平均利用者数 80人/月→150人/月
- ・カラオケ大会→小中学生の部9組、大人の部14組が出演。
- ・夏祭り→大刀洗小学校の運動場（芝生）で開催。500人が参加。

○コミュニティスクール(大刀洗小学校)の取り組み

もちつき、草取り（15分で終了）、運動会、老人クラブとの花植え

○その他

- ・地域の情報が入ってこない→中高生は回覧板や掲示板を見ない。

12/11 (火) 本郷校区 32名

○お宮行事

お宮掃除、座、左義長、しめ縄作り、堂籠り

○健康づくり

分館体操（全8行政区で実施）、ラジオ体操（6か所）、ウォーキング、グランドゴルフ

○集い

ミニデイ、老人クラブ、はちみつサロン、ふれあいサロン(校区センター)、カフェ（西栄田）

○ボランティア、地域の団体など

- ・子ども見守り隊→見守っている側も見守られている。
- ・アンビシャス（火・木）→かかしづくり、門松づくり
- ・本郷地域づくり委員会「灯わ会」→メンバー11名で、竹灯籠を制作。祭りやイベント開催時など、依頼があったところに出向き、作品を設置し、観ていただいている。

○環境

彼岸花植え、ひまわり植え、陣屋川の整備、鯉の放流、草取り、駅の掃除（月1回）

○見守り

- ・セブンイレブンのお届けサービス→自分たちで買い物に行けない人たちへ商品を配達。「手渡し」を徹底していることで、見守りにつながっている。

○助け合い

- ・一人暮らし高齢者宅の不燃物回収→小都市では中学生が協力しているとのこと。

12/18(火) 菊池校区 27名

○お宮行事

奉納相撲、獅子舞、よど

○集い

ミニデイ（北山隈では案内状、ランチのレシピを作成）、茶話会（西大刀洗）、麻雀（山隈）、ひょうたん村、コーヒー下田、チャレンジ教室（第1.3土 中学生にボランティアできてもらっている）

○ボランティア、地域の団体など

- ・子ども見守り隊…あいさつできない子が気になる。まずは、大人からあいさつを。自身の子どもや孫が卒業すると、やめてしまう人が多い。H30年4月に「北鶴木子ども祭り」を開催。
- ・青壮年部（北鶴木）…神輿、門松づくりなど活発に活動している。
- ・二三四会（山隈）…20代,30代,40代を中心として発足した青年団。

○見守り

- ・回覧板を回すときに一声かける。（安否確認）
- ・認知症 SOS 模擬訓練（北鶴木で初開催）
- ・中学生の自転車のマナーが悪い。

○校区センターの取り組み

夏祭り、月見、カラオケ大会（年3回）、クリスマス会

○その他

- ・慈愛会について
→5/3 地域交流会を開催。地域の方々やボランティアなどが多く参加。年末に困窮世帯におせち料理を配布。鳥飼区にて買い物支援を実施。
→菊池校区が慈愛会の活動を知らない。
- ・横のつながりが少ない、隣組に入らない人が多い。以前、「回覧版とばしてくれ」と言ってきた人が、孤独死したケースがあった。
- ・「遠くの親戚より近くの他人」畑でとれたもののおすそ分けなど、“つながり”が多いが、一方で「監視されている」と感じる人もいる。

ワーク② 自分たちで、または、誰かのお手伝いがあれば地域でできそうなこと

12/4(火) 大堰校区 38名

- ① 居場所
 - ・分館を開けておく→縁側で日向ぼっこできる場所
- ② 生活支援
 - ・社会福祉法人の地域貢献事業について伝えてほしい。
- ③ 移動支援
 - ・鳥飼の“おたがいさま買い物サービス”は「三川」が必要。
 - ・移動支援があれば健康づくりや趣味の集いに参加できる。
 - ・移動支援は必要。男性が誘っても女性は遠慮する。遠慮しなくていいネットワークが大事。
 - ・何人かいれば声があげやすい。一人だと気がひける。
 - ・大堰校区でやろうと思えばできる？→運転手の確保、車は役場？
 - ・車両があれば、地域の人たちで運転できる！
 - ・買い物は見るのも楽しみ。いろいろなものを選んで買う楽しさ。
 - ・コミュニティバス走らせられる？校区内に病院もスーパーない。
 - ・役場のワゴン車を借りて、町内全域を2時間くらい巡回できるのでは？今はいいが、10～20年後は…。宅配ではなく、店に行ってみたい。誰かと会ってしゃべる機会にもなる。月に1～2回でも実施できれば。例えば、1年間期間を決めて試行しては？
 - ・近所の人を買い物に連れて行っているが、ネットワークができれば…遠慮しなくていいようにマッチングアプリなどがあればよいのでは？
 - ・買い物場所はAコープか甘木が多い。大堰駅の踏切が危険なので、あまり通りたくない。
- ④ 健康づくり
 - ・校区センター、分館での体操を広めていく。
 - ・小学生の長期ラジオ体操に老人クラブも参加する。
- ⑤ 趣味の集い
 - ・農業をしている人が多いので趣味の集いがなかなか定着しない。
 - ・男性の料理教室
- ⑥ その他
 - ・「地域のことは地域で」地域の行事を続けたい。→後継者が必要
 - ・認知症SOS模擬訓練をやりたい。
 - ・農作業中の人に子どもの見守り(下校時)に協力してもらえないか？
 - ・高齢者夫婦二人のみ世帯 今後が心配。

12/12(水) 大刀洗校区 32名

- ① 居場所
 - ・今区健康サロンを土曜日に開催することで、子どもも参加できるように
 - ・井手ショッピングを子ども～高齢者の集いの場に
 - ・地域交流センター円虹(海の星保育園旧園舎)でクリスマスパーティーを開催しては？
 - ・居場所を巡回バスのルートに入れる
 - ・集いの場や行事に参加するスタンプラリーがあれば外出する目的になるのでは？
 - ・若い人たちの参加が必要不可欠→若い人たちへの情報発信が必要。学校、家庭、地域との関係を切り離して考える人が多いのかもしれない。親の価値観が変わってきているように感じる。
- ③ 移動支援
 - ・移動は中高生も困っている→巡回バスを利用できないか？親の負担軽減につながる。※送迎は親の働き方にも影響するのでは？
 - ・巡回バスでの顔合わせがつながりづくりに。
 - ・農業+車の運転→現役
 - ・巡回バスの範囲を広げられないか？→筑前町にはスクールバスがある！？
- ④ 健康づくり
 - ・地域活動に参加するために70歳まで健康でいる。
- ⑤ 趣味の集い
 - ・役場まで行かないと趣味の集いが無い。→各区で持っている資源を巡回バスで回ること共有しては？
 - ・高樋の公民館にあるカラオケ機(7,000円/月)を南コミに置いて、みんなで使えるようにしては？高樋だけでは稼働率が低い。
- ⑥ その他
 - ・地域の情報を自分から知るようにする。

12/11(火) 本郷校区

- ① 居場所
 - ・地元の方と新しく引っ越してきた方(特にアパート)との交流が必要。
- ② 生活支援
 - ・災害時、避難所まで一人で行けない人を連れていく。
- ③ 移動支援
 - ・必要とする人の家の前にほしい。本郷校区は広くて、道が狭い。
 - ・巡回バスがあれば運転したい。
 - ・運転ボランティアはやってみたいが、事故が不安。施設の職員さんにボランティアで手伝ってもらえないか？
 - ・通学路の整備も必要。
- ④ 健康づくり
 - ・散歩のついでにゴミを拾う。それを見て子どもたちも拾う。
- ⑤ 趣味の集い
 - ・それぞれの自慢料理を持ち込む「男性の料理コンテスト」
- ⑥ その他
 - ・居場所、生活支援、健康づくり、趣味の集いなど、誰が中心になってする？→実施する人が継続できるよう、負担感を減らすために、ネットワークを作って取り組むことが大事。「自分たちのことは自分たちで」
 - ・隣近所の見守りが大事。相互助け合い。一人でしようとしなない。地域を愛することが大事。
 - ・若い人をひっぱりこむ。
 - ・あいさつ運動→顔の見える地域

12/18(火) 菊池校区 27名

- ① 居場所
 - ・子どもを巻き込んだ居場所がしたい。中学生には地域とのふれあいが無い。コミュニケーションをとるために、日ごろから、大人が自分からあいさつを。
 - ・男性が出てくるきっかけが必要。麻雀がそのきっかけになるのでは？
 - ・久留米市(安武)では塾+子ども食堂を開催→校区センターで視察
 - ・「カフェ」のように気軽に集える場所が必要。
 - ・公民館の開放 ※区長と分館長が同じなので負担になっているのでは？
- ② 生活支援
 - ・ゴミを一緒に持っていく。
- ③ 移動支援
 - ・コミュニティバスの要望は多い。
 - ・役場のバスを利用？
- ④ 健康づくり
 - ・ラジオ体操をする。
 - ・グランドゴルフに参加。
- ⑤ 趣味の集い
 - ・カラオケサークル
- ⑥ その他
 - ・回覧板を回すときの声掛けを続ける。インターホンを押して、出てきてもらわなくてもよいので、返事が聞こえれば、元気だと確認できる。
 - ・鳥栖市内の小学校在自転車運転技術の全国大会に出場。学校、警察、交通安全協会の協力。中学生が教えに来て、親たちも参加。自転車の乗り方を子どもから大人へ逆輸入。大刀洗でも取り組めば、自転車のマナーが良くなるのでは？

